

白門四八会

中央大学学員会白門48会会報29号
(題字：故中央大学総長 高木友之助先生)

29

発行日：令和元年5月1日
発行人：榎本真一
発行所：中央大学学員会白門48会
東京都千代田区神田駿河台3-11-5
中央大学駿河台記念館学員会事務局
TEL：03-3219-6175
印刷所：株式会社カバリー

創立20周年記念総会・懇親会開催



景色の良い会場で行われた懇親会、(右上)記念講演をする遠藤衆議院議員



遠藤利明元五輪担当大臣が記念講演

白門四八会創立20周年記念総会・懇親会は平成30年6月9日(土)午後3時より新宿の小田急ホテルセンチュリーサザンタワー21階パークルームで行われた。この4年連続開催の景観素晴らしい会場では、第20回総会、記念講演(遠藤利明衆議院議員元五輪担当大臣)、懇親会と20周年記念にふさわしい盛りだく

さんの内容で行われた。当日の記念講演や来賓挨拶等は昨春秋発行の記念誌に詳しく紹介している。ここでは省略し全体の流れや決定事項等を報告する。総会では①2017年度事業報告・決算、②2018年度事業計画(案)、③2018年度予算(案)、④役員改選について審議され、可決承認されたが、何とんでも当日の目玉は会長改選であり、第八代会長として榎本真一氏が選出され、山口隆司前会長からバトンタッチを受けることとなった。(新役員、決算書は次頁資料参照)

遠藤衆議院議員の記念講演は、大学生活から政界入りの過程や政界の裏事情などを独特の軽妙洒落な言い回しで笑いを誘いながら約1時間にわたり行われ、和やかな雰囲気醸し出された。懇親会は20周年にふさわしく、来賓ゲスト14名、会員51名計65名と過去最高の人数で盛大に執り行われた。開会宣言、挨拶、来賓(一言つても同期会員)の酒井正三郎総長、林勘市常任理事、瀬川徹学員会副会長からの祝辞、新役員紹介、来賓紹介と続き、半澤勉年次支部協議会代表幹事・白門四八会支部長の乾杯で華やかに開宴された。新参加8名や遠方からの4名を含めた参加者は和やかに懇談し、今後の意気込みを語る藤原正和駅伝監督のビデオレター紹介、ソプラノ歌手河口三千代さんの独唱、お楽しみ抽選会、神田節、応援歌斉唱(ここでは国領監事、菊田幹事、操会員による「エール三連発」が見ものであった)と続き、最後は惜別の歌でお開きとなった。今回は初の試みで、これまでの足跡を綴る懐かしの写真がスクリーンに終始流され、感慨深く見る姿も多く見られた。

宴会は当然ここでは終わらず二次会へ突入。来賓を含む41名という大所帯で大いに盛り上がる事ができた。終了後、幹事の役目を終えた有志の何人かは三次会、四次会?にも突入し、電車がなくなるまで続いたとか...という話も漏れてきている。

ともかく、一年以上かけて練られた創立20周年事業の集大成は大成功のうちに終了し、大満足の参加者であった。そして最後に、企画立案から当日の準備作業、裏方など佐藤愛子幹事長はじめ幹事の皆さんのご苦労に對し心より感謝し、記念総会の報告としたい。

(理工卒・山口隆司)

四八会会長に就任して

白門四八会会長

榎本真一
(文学卒)



昨年6月の第20回総会で白門四八会第八代会長に選任された榎本真一でございます。その器ではないと固辞いたしましたが、選ばれた以上はできる限り、会の目的を果たすために力を尽す所存です。

会の目的とは、規約によれば「会員相互の親睦と交流を図

る」および「母校中央大学の発展と興隆に寄与すること」ですが、会員相互の親睦と交流には20年の積み重ねで相当の実績をあげているのではないかと思われま。定時総会・懇親会をはじめ、ホームカミングデーへの参加、毎年テレビ中継される箱根駅伝5・6区大平/台での応援、

各種の旅行、新年会、花見会、幹事会などの定例行事で、多くの方たちが集い交流を深めています。そのうえに、ぶらり散策、温泉めぐり、グルメ会、ハイキング、漕艇(競技ボート)、ゴルフ、学生スポーツ(野球・ラグビー)応援、といった同好会活動も盛んで、親睦をはかる催しの多い会だといえるでしょう。

一方、母校中央大学の発展と興隆に寄与する、という目的についてはいかがでしょうか。幸いといべきか、当会には大学関係者として総長の酒井正

三郎先生や、大学常任理事の林勘市弁護士が会員として在籍しています。大学発展のために奮闘される両君を支持・支援することも貢献の一つでありましょう。凋落著しいと揶揄されていた母校が、この数年「中長期事業計画(Chuo Vision 2025)」の策定以来、新学部の設立や法学部の都心移転など徐々に活力を漲らせてきています。その牽引役の酒井・林両君を全面的にバックアップすることはやぶさかではないと誰もが思うところですが、単にそのみに留まらず母校の発展に寄与・貢献でき

平成29年度 白門48会決算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	344,000	会費	942,191
年会費	288,300	金庫券作成費(2827号)	292,792
3名	56,000	地方支部誌補助金	0
		福祉ボランティア-賞品	10,000
福祉台費	512,000	福祉ボランティア-経費	25,174
福祉台費	264,500	福祉ボランティア-維持管理費	32,400
福祉二次会参加費(22名分)	86,300	総会入場費(懇親会・二次会)	357,420
新年会参加費(12名分)	182,900	総会経費(催物代他)	32,815
		新年会パーティ費	191,590
寄付金・税金	50,000		
雑会費	50,000	海外費	50,000
		床次支部協議会	10,000
広告料	53,000	他支部総会等祝金	40,000
会報20年増刷分(各県支部)	20,900		
会報27年増刷分(各県支部)	33,000	慶弔費	0
		福引代	0
学費負担補助金	140,000		
最新活動補助金(29年度)	100,000	広布宣伝費	10,000
会報コンピュータ費	83,200	福祉ボランティア-広告宣伝料	10,000
福祉ボランティア-活動補助金	30,000		
		加算	132,477
雑収入	18,000	文具・消耗品代	8,609
HCOE-8-海野代金	16,000	通信運賃	105,990
		振込手数料	3,672
		雑収入	10,804
		雑収入計(手立)	1,800
福利金別当	2	その他(手立)	1,800
当年度収入 計	1,115,002	当年度支出 計	1,134,665
前年度繰越金	2,004,125	次年度繰越金	1,884,459
合 計	3,119,127	合 計	3,119,127

議 録 査 明 簿	
日本郵政	1,746,092
三井住友	2,070,377
理 金	0
合 計	3,816,469

平成30年6月9日
白門48会会長 山口 雅可
会計部会副幹事長 水野 勝敏
平成30年5月9日
会計監査 藤野 美知子
会計監査 国領 義男

平成30年度 白門48会役員

- 会 長 榎本 真一(文学部)
- 副 会 長 左居 康雄(法学部)
佐藤 豊(経済学部)
井沢 和夫(商学部)
島崎 修(理工学部)
川名まゆみ(文学部)
- 幹 事 長 佐藤 愛子(文学部)
- 副幹事長 三森 孝悦(理工学部) 事業部会担当
長谷川孝雄(理工学部) 事業部会事務局担当
水野 勝敏(商学部) 会計部会担当
江川 修司(商学部) 会計部会担当
小林 裕(文学部) 広報部会担当
坂本 賢一(経済学部) 広報部会ホームページ担当
- 常任幹事 山口 隆司(理工学部)
小田 真一(商学部)
菊田 和行(法学部)
佐山 洋一(経済学部)
宮崎 謙一(法学部)
藤野美知子(文学部)
- 地方支部 黒羽 一記(文学部) 関西支部長
三澤 壯義(商学部) 東北支部長
橋本 博(経済学部) 九州支部長
- 会計監査 東海林 正(法学部)
国領 義男(経済学部)

大学改革

いざ起て友よ時は今

中央大学常任理事

林 勘市
(法卒)



新しき世のあさほらけ。自由の天地ぞ展けゆく。2019年度入学式で校歌を歌いながら、

正に時は今、多摩キャンパス、市ヶ谷田町キャンパス、茗荷谷キャンパス、後楽園キャンパス、そして駿河台へと、胸に血潮の高鳴りを感じながら、キャンパス整備への想いを馳せていました。「令和」の時代が始まる今年から、中央大学は、日本中から世界中から優秀な若者が集う魅力あふれる大学をめざして、大きく、そして力強く、前進し始めました。

今年の文系学部入学式では、新学部合計出願者1万2000人を超える難関を突破した清新な国際経営学部と国際情報学部の新入生が代表あいさつをしていました。

国際経営学部の新入生は、きれいに改装した多摩キャンパス1号館東側2階と4階が本拠地です。今年度は3号館教室で授業を受けますが、2020年度はモノレール駅横に完成するグローバル館内の教室を使用し、留学生はグローバル館併設の国

際教育寮で日本人学生と多様な文化交流が可能となり、更に2021年度にはスターバック

2021年度にはスターバックス店があるグリーンテラスと3号館の間のエネルギーセンターの場所に増築する学部共通棟内の教室も使用できます。特に学部共通棟は木の暖かさを活かした斬新な建物ですので、完成を楽しみにしてください。モノレール駅前スタバを中心としたダイバーシティ・グローバルゾーンとして、年を追うごとに充実した勉強とキャンパスライフ環境が整いますので、国際経営学部はますます人気化していくことでしょう。

また、市ヶ谷田町キャンパスに開設した国際情報学部ですが、とにかくこれまでの中央大学のイメージを変えるキャンパスにしたいとの想いから、見通しが効き開放感のあるガラス壁面を使用した明るい色調の内装に仕上げました。特に1階エントランスとその奥の学生ラーニングスペースは、どこのホテルカフェかと見紛うほどのお洒落さです。女子新入生2人に感想を

聞きましたら、2人も理系志望だったが文理融合の新学部に魅力を感じて入学した、大変お洒落な内装、備品でびっくりしたと言って、入学できたことを喜んでいました。国際情報学部もこのように大変好評ですので、大いに期待できます。

そして、2023年度に法学部2〜4年生が移転する茗荷谷キャンパス予定地は、丸の内線茗荷谷駅改札口出て徒歩1分以内の駅前であり、周囲は御茶ノ水女子大、跡見学園、拓殖大学、筑波大学及び同付属高校等の落着きのある学生街で絶好の場所です。7255㎡の都有地を期間40年(都が了承すれば更に10年の延長が可能)の定期借地をして地上8階・地下2階延床面積3万3900㎡の建物を計画しています。

既に借地契約を終え4月から2021年度には後楽園キャンパス内の東南角(テニスコートがある場所)に法学部1年生が移転する建物を計画しています。

これら2つの法学部の新建築物は、中央大学が英国ロンドンのミドルテンブル(法曹院)由来の英吉利法律学校を起源とし、日本銀行本店や東京駅などを設計した著名な建築家辰野金吾氏が設計したと言われる赤レンガの英吉利法律学校そして駿河台校舎の伝統と実績を彷彿させるような意匠の外観を計画しています。

更に、今年の法学部1年生から3年終了時にロースクールに進学できる法曹養成コースもスタートしますので、現在、法学部移転に合わせてロースクールとビジネススクールも駿河台に移転させる方向で検討を進めているところ です。

校歌の一節「いざ起て友よ時は今」を口ずさみながら、四八会同期の友と力を合わせ、我が母校中央大学の輝かしい未来のために共に頑張りましょう。



法学部都心移転を告げる新聞広告(読売新聞)



茗荷谷キャンパス予定地

記念事業

記念誌を発行

白門四八会創立20周年記念事業の一環で、平成29年(2017年)に記念誌の発行が決まり、山口会長(当時)を委員長とす



編集委員の皆さん

る白門四八会20周年事業実行委員会の中に20周年記念誌担当小委員会が発足しました。

第1回は平成29年9月29日(金)に聞き詳細を詰め、A4版で、64ページ、発行時期は、平成30年(2018年)10月と決めました。記念誌担当小委員会委員長には、榎本真一、委員には、坂本賢一、島崎修、左居康雄、小林裕の5名が当たり、山口会長や佐藤愛子幹事長の指導助言も参考にしました。

最後に、取材にご協力をいただいた藤原正和駅伝監督、写真を提供していただいた中央大学大学史資料課、原稿執筆にご協力をいただいた酒井総長、四八会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。(文卒・小林 裕)

温泉と美酒を求めて 新潟への旅

平成30年7月8日、9日、20周年記念行事の一環として、新潟県六日町から越後湯沢へ「温泉と美酒を求めて」の旅を行いました。途中参加、現地参加を含めて総勢15名。西福寺、魚沼の里、八海山雪室、鈴木牧之記念館・塩沢宿町並み散策、泉ピレッジガーデンでのBBQ等の行程でした。

宿泊は秘湯を守る会で有名な

大澤山温泉大澤館。北野武監督の『はなび』でロケ地にもなった旅館です。ご主人が病気で病に倒れてからは共に飲み語らうことはなくなりましたが、それでも日本酒を一人一人に注いで回ります(団体の場合は1本置いていってくれます)。そのお酒「越後で候」(12月限定販売)は大変美味しいお酒でした。私は下戸ですが、良いお酒、良い温泉、良い仲間との楽しいひとときでした。

次回は皆様もぜひご参加を。最後になりましたが、企画・運

第27回ホームカミングデーへの参加

中央大学第27回ホームカミングデーが、平成30年10月27日(日)午前10時より多摩キャンパスにて開催された。前日の台風接近でテント等が強風に備えて撤去されたが、当日はそんな不安を吹き飛ばす好天に恵まれ、過去最多の7000名の来場者で大賑わいとなった。

今年も式と音楽の祭典に始まり、ビッグ座談会(法曹界、政財界で活躍する学員)や経済評論家の上念氏の講演(H5卒)を聴き、白門駅伝大会で汗を流し、初企画の学員作品展では趣味の範囲を超えた作品に感動す



ホテル狩りへ出かけようと集まった参加者たち

営に奔走された三森副幹事長に感謝。(文卒・川名まゆみ)



総長もカレーショップの応援に(右から2人目)

るなど幅広く楽しめたイベントであった。卒業50周年、25周年の祝宴にも多くのOB・OGが集まり、中央テーブルでの懇親交流会最後の特賞抽選会では、応援団の演舞もあり大盛況で万歳三唱をして散会となった。我が四八会では宮崎会員と成田会員が福引で特賞を獲得し、

中大レガッタに参加して

私は昨年12月9日(日)に戸田ボートコースで久しぶりに開催された白門レガッタに参加いたしました。当日は冬晴れの天候にも恵まれて楽しい一日を過ごしました。菅原戸田市長も駆けつけていただき力強いエールを頂戴し、福原学長・酒井総長のご挨拶に続きいよいよレースとなりました。

私は単に応援に行っていただけのつもりでしたが、酒井総長

皆から羨望の眼差しで迎えられた。会では老体に鞭打ち、恒例の中村屋カレーを販売したが、あつという間に完売となった。同期の中村屋元専務の小林会員には多大なご協力いただき、酒井総長、林常任理事も激励に駆けつけ仲間と共に皆、笑顔でカレーを食されていたのが印象的であった。

交流場所にも四八会の旗を見て遠く青森から来て下さった木村会員や初参加の方々との交流、二次会でも達成感でお酒が進み大宴会となった。

旧交を温め、絆を深めるホームカミングデー、今年は初めて後楽園校舎で9月29日に開催される予定である。(文卒・佐藤愛子)

が2レース目はご都合で参加できないとのこと、私が急遽指名されてボートに乗ることになりました。パウサイド(進行方向の右側)・ストロークサイド(同左側)の意味も全く知らず、生まれて初めてボートを漕いだのでどうなるかとも思いましたが、何とか1レース目と同じ2着に入り面目を保つことができました。

その後日ごろの運動不足の克

創立20周年

近畿白門祭へ参加

協力に感謝します

中央大学学員会副会長

瀬川 徹
(法卒)



四八会の皆様、益々お元氣で活躍の事と存じます。私は、現在、学員会本部の事業担当を務めておりますが、日頃より四八会の仲間には強力なご支援を頂き感謝に耐えません。とりわけ、昨年11月18日(日)に大阪で開催した「近畿白門祭」には、遠方にもかかわらず、榎本会長、佐藤幹事長をはじめとする多くの仲間に参加頂き感激でした。

域の人々に参加を頂いて実現した初めての事業でした。第1部は、中央大学の音楽研究会吹奏楽部の大阪公演として、近畿地域にある東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部、明星高等学校音楽部、そして、プロのクラリネット奏者稲本渡氏の共演を受けたコンサートでした。全ての演奏が見事なレベルの高さを示し聴衆の我々全員が感動を覚えるものでした。会場となった大阪国際交流センター大ホールは、1006名の座席数を誇る施設ですが、四八会の仲間を含む学員、大学関係者は勿論のこと、出演者の父兄や家族

等を含む地域の方々で満席の状態でした。学員、支部、地域との連携による中央大学のプレゼンスを高めるとの意図が実現できた気がします。第2部は、近畿地域の学員だけでなく、全国各地の学員が大阪に参集し開催された初の大規模な白門懇親会でした。その中でひときわ存在感を示したのが我が四八会の仲間でした。会長、幹事長をはじめとする来阪の仲間は勿論のこと、近畿ブロック在住の四八会員、更に酒井総長、井上副学長(教授)、林常任理事の大学関係者、そして私を含めた多数の四八会の仲間が集合し「四八会の会旗」を靡かせながら同期会を行い大いに談笑し存在をアピールできました。

服もかねて毎月1回の練習にも参加させていただいております。恐れながら今年は東京マラソンで目覚ましい活躍をされた堀尾君に負けないよう、ぜひ1着を取りたいと思っております。皆様もぜひ参加されることをお勧めいたします。

崎さん(以上順不同) ここで中大レガッタの簡単な歴史を紹介したいと思います。第1回中大レガッタは実に今から58年前の1960年にスタートし、長らく中断していましたが2010年に中央大学の125周年を記念に復活し、さらに今年学員会の主催行事として新たなスタートを迎えました。今後とも「One Chuo」の絆を深めるといふ大会の趣旨に則り、長く受け継がれていくことを心から願っております。
(理工卒・山下三雄)

「近畿白門祭」は、近畿ブロック125周年記念事業として、近畿ブロック(6支部)が2年を掛けて企画を練り、学員会本部、中央大学が共催し、近畿地

域の人々に参加を頂いて実現した初めての事業でした。第1部は、中央大学の音楽研究会吹奏楽部の大阪公演として、近畿地域にある東海大学付属大阪仰星高等学校吹奏楽部、明星高等学校音楽部、そして、プロのクラリネット奏者稲本渡氏の共演を受けたコンサートでした。全ての演奏が見事なレベルの高さを示し聴衆の我々全員が感動を覚えるものでした。会場となった大阪国際交流センター大ホールは、1006名の座席数を誇る施設ですが、四八会の仲間を含む学員、大学関係者は勿論のこと、出演者の父兄や家族

等を含む地域の方々で満席の状態でした。学員、支部、地域との連携による中央大学のプレゼンスを高めるとの意図が実現できた気がします。第2部は、近畿地域の学員だけでなく、全国各地の学員が大阪に参集し開催された初の大規模な白門懇親会でした。その中でひときわ存在感を示したのが我が四八会の仲間でした。会長、幹事長をはじめとする来阪の仲間は勿論のこと、近畿ブロック在住の四八会員、更に酒井総長、井上副学長(教授)、林常任理事の大学関係者、そして私を含めた多数の四八会の仲間が集合し「四八会の会旗」を靡かせながら同期会を行い大いに談笑し存在をアピールできました。

服もかねて毎月1回の練習にも参加させていただいております。恐れながら今年は東京マラソンで目覚ましい活躍をされた堀尾君に負けないよう、ぜひ1着を取りたいと思っております。皆様もぜひ参加されることをお勧めいたします。

崎さん(以上順不同) ここで中大レガッタの簡単な歴史を紹介したいと思います。第1回中大レガッタは実に今から58年前の1960年にスタートし、長らく中断していましたが2010年に中央大学の125周年を記念に復活し、さらに今年学員会の主催行事として新たなスタートを迎えました。今後とも「One Chuo」の絆を深めるといふ大会の趣旨に則り、長く受け継がれていくことを心から願っております。
(理工卒・山下三雄)



近畿白門祭の第1部はコンサート。大阪国際交流センター大ホールで演奏する中央大学吹奏楽部



大阪の懇親会場を席卷した48会員

平成最後の新年会で盛り上がり

報告とさせて頂きます。

平成最後の年となる31年、1月も月末ぎりぎりの30日、東京・市ヶ谷のグランドヒル市ヶ谷で、30名の参加者を得て白門四八会の新年会が開催された。

司会は佐藤愛子幹事長。榎本



壇上に呼び出され報告をする話題の人たち

会長の開会の言葉に続き酒井総長のご挨拶、および林常任理事から母校の現状についてのご説明をいただいた。学員会本部からは瀬川副会長が出席され、乾杯の発声をお願いして元氣よく開宴した。

最後は鈴木会員のリードで「神田節」の大合唱となったが、酩酊したリードが心もとなく笑いを誘う結果となった。二次会は同会館内の割烹「都田川」で行われ、半数以上の20名が参加する盛会となった。そこでも各々の話題で盛り上がり、夜が更けるのも忘れるほどだった。
(経卒・佐山洋一)

活 動 報 告

箱根駅伝同好会

半年以上早い2020年箱根駅伝展望



箱根大平台に陣取る48会応援団

白門四八会では、会をあげて箱根駅伝での母校の健闘を応援しています。第95回箱根駅伝では立川での予選会（平成30年10月13日）から声援を送りました。そこで本戦出場を果たした母校を応援するため、平成31年1月2日3日、5区・6区箱根大平台へ駆けつけました。その様子はTVでご覧になったと思います。

結果は11位とシード権獲得に今一歩及びみせませんでした。その後東京マラソンでの堀尾選手の活躍もあり、中大陸上部長距離選手への応援を続けています。

立川ハーフ

大森君が自己新の64分台中大トップ

3月10日、日本学生ハーフマ

ラソン（立川ハーフ）が開かれ、四八会から、新倉会員、佐山会員、そして私が応援に駆けつけました。この日は、風もなく穏やかなマラソン日和でした。

わが中大からは、陸上部長距離部員の約半数の15人が参加しましたが、後で述べるように2月の丸亀ハーフにエース級の選手が出場したため、この日は中堅どころの選手が多く参加しました。

この中では、大森君が64分44秒の自己新・73位が最高でした。その外、65分台で走ったのは三須君など4人で、寂しい結果に終わりました。私の感想では、64分台の選手があと4〜5人出て欲しいところです。

丸亀ハーフ

舟津君が自己新の62分台で快走

丸亀国際ハーフ（2月3日開催）は、実業団・大学駅伝のトップクラス、一流外国人選手も出場する日本で最もレベルの高いハーフマラソンです。

この大会にキャプテン舟津君が32位ではありましたが、自己新の62分49秒で快走、池田君も

自己新にあと2秒の63分36秒で好走しました。あとは、久々のレースになった三浦君が65分13秒、川崎君が65分43秒でした。

二つのハーフマラソンから来年の箱根を展望する

堀尾・中山のダブルエースが卒業して、2020年の箱根を心配する人は多いと思います。確かに二人の抜けた穴はとてつもなく大きいものです。

しかし、私は楽観的に考えるようにしようと思っています。

エース舟津を中心に池田・三浦の3本柱、（本来はここに敵君が加わっているはずなのですが、早い復帰に期待したいところ）この3本柱に続く、矢野三須、大森、川崎、岩佐、富原などの分厚い中堅どころが競い合っただけレベルアップしていけば、総合的には昨年以上の戦力となります。



次の主力選手。左から二井、67番加井、70番三浦、62番舟津、65番池田（予選会にて）

さらに、今年になって急成長の新二年生の森風也君。新入生の高校トップクラスの梶山・若林・千守君などの新戦力が絡めば予選会は楽々通過して、本戦がとてもしなな布陣を敷くことができそうです。

いずれにしても、問題は5区の上上りに誰をあてるかです。誰が最も適性があるのか、この10か月で発掘することが、シード権確保の早道です。

（商卒・井沢和夫）

グルメの会 四八会の朋輩が集う 暑気払い



新宿中村屋グランナにて

我が四八会の大行事『白門四八八会 創立20周年記念総会』を無事に終えた安堵感が7月25日、新宿中村屋・グランナにて開催された『暑気払い』には大勢の朋輩が集い、和気藹藹の和やかな時間を共にした。思

えば此の20年の歩みは『中央大学』と云う学び舎に集り学び、社会に散じて活躍し、幾星霜を経て再び集いしご縁が四八会であり人生もそろそろなった頃この素晴らしい出会いに感謝しています。

酒井総長、林常任理事の母校の現況報告に、我々の最大関心事『法学部都心移転構想』が具体化しつつある話をお聞きし、より一層の母校愛が高まった事は言うまでもない。

二次会で飲んだ酒井総長、瀬川学員会副会長ご推奨の宮城の地酒『浦霞』の芳醇さ。初めて食した『ほや』の味。癖になりそうである。（法卒・左居康雄）

ぶらり散策の会 レインボーブリッジを 歩いて温泉に入ろう

平成30年9月16日。集合はゆりかもめ線の芝浦ふ頭駅。足に自信があり、酒好きの散策の会員が集まりました。その数10名ほど。駅から歩いてほんの数分、エレベーターであっ……という間にブリッジの遊歩道を歩き始めておりました。

曇天ではありませんが日の出、竹芝の栈橋群、後ろに控えるピルの絶景は、我々に間違いなくレインボーブリッジ歩きをしていく実感の味合わせてくれます。

同好会

た。

ほぼ50分ほどで、台場で下に降り、テレコムセンター駅から歩いて、今度は「大江戸温泉物語」入場。全国28ヶ所の温泉施設を経営するその総本山の台場の施設に侵入です。駐車場の広いこと、高いこと、入場者の多いこと、圧倒されます。

フロント（帳場）では長い列ができ、もらったリストバンドで館内の全ての飲食、買い物管理、積算されます。退館時は「関所札」で精算する、今風のシステムです。

温泉施設内部はチョット動線に問題があり、食事処の大広間中村座に席を確保するのが結構大変でした。それにしても、皆のビールの飲み早いこと、圧巻です。

入浴後は場所を変えて、皆さんのむのむー。以降筆者も参戦いたし、以後の記憶は残っておりません。楽しかった!!



レインボーブリッジにて



大江戸温泉物語へ入場

ぶらり散策の会 博物館・美術館を はしごして六本木へ

(法卒・東海林正)

ぶらり散策の会も7回目を数えましたが、初めて文化・教養を主とした内容を開催しました。

平成30年11月30日、上野の国立科学博物館で31年3月まで開催され好評を博した「日本を変えた千の技術博」を観賞して、六本木の国立新美術館で開催されたフランス・オルセー美術館企画の「ピエール・ボナール」展を鑑賞しました。

「日本を変えた千の技術博」は明治150年を記念して、明治時代に明治天皇に献上したエジソンからの蓄音機から、我々にもなじみの深い昭和の時代のSONYのウォークマンの原型やマッドロータリーエンジン「コスモ」の実物など大変興味深い

製品の数々を見入り、参加者皆で改めて当時の日本製品の質の高さに感じ入りました。

次はがらりと変わって絵画の鑑賞! 「ピエール・ボナール」は色彩の魔術師と呼ばれ南フランスの陽光・景色を描きフランスでは大変評価の高かった画家の一人で、初めて見る方もいましたが、明るい色彩で見終わっても気持ちの良い絵画鑑賞でした(私だけかな?)。

見終わった後は日も暮れ、ちよど六本木の街もイルミネーションが始まり、「東京ミッドタウン」のユニークなシャボン玉のイルミネーションを見て、お腹も空いてきたところで、四八会恒例の懇親会に突入! 会場は六本木の「香妃園」という場所柄芸能人の深夜の溜り場的な中華料理店で名物の「鳥煮込みそば」や裏メニューの「カレーライス」(中華でカレー?) はい! を食べながら、



芸能人の溜り場六本木「香妃園」にて

美味しい紹興酒の量も増しながら楽しかった一日を振り返り、盛り上がりながら、酔い覚ましに「六本木ヒルズげやき坂」のイルミネーションを見て思い出を心に刻み帰路につきました。

(理工卒・三森孝悦)

グルメの会 年末にふぐを喰う会 レポート

「四八グルメの会」恒例になったふぐの会を12月25日に開催しました。

今年で5年目になるでしょう

か、10人集まらないと2階の宴会場を使わせてもらえないという、少々値が張る(てつちり、てつさ、ズワイガニ、ビール・ひれ酒をたらふく飲み、雑炊で締め1万2千円ほど)ので、毎年開宴できるかヒヤヒヤするのですが、12人集まったので無事盛り上がる事ができました。私が

40年前に知り20年前から毎年行く横浜野毛の「いとうや」は、80をとうに過ぎた頑固そうな親父さんと尚売つ気のない美人姉妹の3人で切り盛りする老舗で、肉厚フグ刺し、無骨フグ鍋(骨は出汁用として別添)に旨いズワイガニ半パイが付いて8千円は20年来変わらない値段。

ふぐの会はなぜか毎年クリスマス頃の開宴しているの

ですが、何人もの「いとうや員会員」の要望を受け予約を入れたところ、美人姉が開口一

番「駅伝予選通過おめでとうございませう」。私は気分を良くし「別件だけ6人で2階を使わせて」と少し粘って懇願したのですが、OKの返事はありません。この間彼女は微笑みを絶やすことはなく、私は内心「常連なのに」とムカつきました。親父さんなら「いいですよ」と言ってくれるはずなのに。しかし冷静になって思うに、年に1・2回程度来る客を一般的には常連さんとは呼ばない。

その親子がどうやって生活しているのか謎で、冬のふぐの時期しか店を開けない。1階の4人席6卓はいつも埋まっているわけではない。いや、3時間我々だけの時だってあったのに。ましてや20人ほどで満席になる2階の座敷は客がないことが常なのです。

私より一回り以上若いだろう姉妹は、少人数のために2階まで料理を運ぶのが億劫なだけだろう、というわけで今年もグルメと駅伝の話で大いに盛り上がるふぐの会を10人以上集めて開宴したいので、初めての方もぜひご参加ください。損はさせません。

(グルメの会会長付側用人)

商卒・水野勝敏

《第21回定時総会・懇親会のご案内》

第21回定時総会を開催します。多くの学友が集い旧交を温めます。初めて出席される方も歓迎です。懇親会だけでなく2次会へもぜひご参加ください。

日時 2019年6月8日(土) 15時より
場所 小田急ホテルセンチュリーサザンタワー21階
 (新宿駅南口より徒歩5分)

《会費納入のお願い》

白門48会は昨年創立20周年を迎え、記念総会をはじめ、記念誌の発行や旅行等の記念行事を行ってまいりました。

また年間を通して全会員を対象にした同好会企画や懇親会行事を柱に、活発な活動を展開しております。

その活動助成やご案内、会報やホームページでのお知らせなど会の運営は会員の皆様の会費によって賄われています。

会費の納入方法は、逐年ごとの納付となっておりますため、時期を逃しますと年会費納入が滞ってしまいます。そのような場合でも、途中納入が可能ですので、思い立った時に入金してくださいませようお願いいたします。

厳しい経済状況の折、まことに恐縮ではございますが、ご賢察のうえ格段のご配慮をいただきたく、よろしくごお願い申し上げます。



幹事長 佐藤 愛子
 〒192-0351 東京都八王子市東中野228-1101
F A X : 042-679-3329
携帯電話 : 090-4098-7379
Eメール : ai-mimo.310.dm@amber.plala.or.jp

3月31日、平成最後となる恒例の花見会が催されました。ここ数年は王子の飛鳥山公園で行われてきましたが、今回は横浜掃部山公園での開催となりました。横浜在住の方々以外は殆ど皆さんが初めての場所でした

が遠路にも拘わらず、菊田さんのお孫さんを含め13名の参加となりました。掃部山公園は、その名のとおり横浜開港に道をつけた大老井伊掃部頭を顕彰するため彦根藩が運動し、この地に銅像を建て

たというゆかりの地です。横浜港やみなとみらい21地区を望む花見には絶好のロケーションでありました。当日は近郊にお住まいの水野さん、榎本さんに早朝から場所取りの労をとっていただき、公園内の一等地を確保することができました。11時にスタートし、天気は若干花冷えの曇り空でしたが、満開の桜の下、各人が持ち寄った手料理などに舌鼓を打ちながら賑やかに酒を酌み交わしました。午後3時頃、花見の宴はお開きになりましたが、その後野毛地区さらに桜木町駅周辺へと繰り出すメンバーも多々あり、いつもながらの楽しいひと時を過ごしました。(法卒・宮崎謙一)

平成最後のお花見会開催

満開の桜の下/
 持ち寄り料理に
 舌鼓



満開の桜の下で記念撮影

《今後の予定》

- ▶ 6月8日(土) 第21回総会・懇親会
- ▶ 9月12日(木) 幹事会・懇親会
- ▶ 9月29日(日) ホームカミングデー
- ▶ 10月26日(土) 箱根駅伝予選会

俳句コーナー

三橋 隆 逆

緑陰に憩ふ老軀や蟬時雨
 三橋 隆(文・成田市在住)
 流れゆく水に抗う川とんぼ
 上原秋雄(文・佐久市在住)

株式会社 ディスカバリー

～企画・編集から物流まで～

代表取締役 島崎 修

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-3-4
 TEL. 03-3295-3060
 FAX. 03-3295-3589
 e-mail : eagle@wdiscovery.com

自伝・創作・詩歌集等自費出版の編集

なみきみち社

代表 榎本 真一

〒236-0005 横浜市金沢区並木1-17-12-1305
 TEL. 045-772-0760
 e-mail : kinatu.s@titan.ocn.ne.jp